

## 1. イエス・キリストと旧約聖書

「キリストは人間の手をもって働き、人間の知性をもって考え、人間の意志をもって行動し、人間の心をもって愛した。かれは処女マリアから生まれ、真実にわれわれのひとりいとなり、罪を除いては、すべてにおいてわれわれと同じであった。」現代世界憲章 22

- 📖 「あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。」ヨハ 5:39
- 📖 「あなたたちは、モーセを信じたのであれば、わたしをも信じたはずだ。モーセは、わたしについて書いているからである。」ヨハ 5:46
- 📖 「イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」」ルカ 24:44
- 📖 「そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。」ルカ 24:24-27
- 📖 「イエスはろばの子を見つけて、お乗りになった。次のように書いてあるとおりのことである。「シオンの娘よ、恐れるな。見よ、お前の王がおいでになる、／ろばの子に乗って。」弟子たちは最初これらのことが分からなかったが、イエスが栄光を受けられたとき、それがイエスについて書かれたものであり、人々がそのとおりにイエスにしたということを思い出した。」ヨハ 12:14-16
- 📖 「こうして律法は、わたしたちをキリストのもとへ導く養育係となったのです。」ガラ 3:24。
- 📖 「そこで、ユダヤ人たちは日を決めて、大勢でパウロの宿舎にやって来た。パウロは、朝から晩まで説明を続けた。神の国について力強く証しし、モーセの律法や預言者の書を引用して、イエスについて説得しようとしたのである。」使 28:23

## 2. イエス・キリストに向かう救いの歴史(メシアの出身の具体化の過程)

### 2.1. 最初の人間アダムとエバ

- 📖 「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く。」創 3:15

### 2.2 アダムとエバの息子セト（3人の中3人目）

- 📖 「再び、アダムは妻を知った。彼女は男の子を産み、セトと名付けた。カインがアベルを殺したので、神が彼に代わる子を授け（シャト）られたからである。セトにも男の子が生まれた。彼はその子をエノシュと名付けた。主の御名を呼び始めたのは、この時代のことである。」創 4:25-26

### 2.3 ノアの息子セム（3人の中1番目）

- 📖 「神はノアと彼の息子たちに言われた。「わたしは、あなたたちと、そして後に続く子孫と、契約を立てる。あなたたちと共にいるすべての生き物、またあなたたちと共にいる鳥や家畜や地のすべての獣など、箱舟から出たすべてのもののみならず、地のすべての獣と契約を立てる。わたしがあなたたちと契約を立てたならば、二度と洪水によって肉なるものがことごとく滅ぼされることはなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない。」創 9:8-11
- 📖 「箱舟から出たノアの子らはセム、ハム、ヤペテであった。ハムはカナン之父である。この三人はノアの子らで、全地の民は彼らから出て、広がったのである。」創 9:18-19
- 📖 「やがてノアは酔いがさめて、末の子が彼にした事を知ったとき、彼は言った、／「カナンはのろわれよ。彼はしもべのしもべとなって、／その兄弟たちに仕える」。また言った、／「セムの神、主はほむべきかな、／カナンはそのしもべとなれ。」創 9:24-26

## 2.4 セムの子孫アブラハム（セム族：アラビア人、エチオピア人、イスラエル人など）

「主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷／父の家を離れて／わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし／あなたを祝福し、あなたの名を高める／祝福の源となるように。」創 12:1-2

## 2.5 アブラハムの息子イサク（8人の中2番目）

「サライはアブラムに言った。「主はわたしに子供を授けてくださいません。どうぞ、わたしの女奴隷のところに入ってください。わたしは彼女によって、子供を与えられるかもしれません。」アブラムは、サライの願いを聞き入れた。」創 16:2

「ハガルはアブラムとの間に男の子を産んだ。アブラムは、ハガルが産んだ男の子をイシュマエルと名付けた。」創 16:15

「主は、約束されたとおりのサラを顧み、さきに語られたとおりのサラのために行われたので、彼女は身ごもり、年老いたアブラムとの間に男の子を産んだ。それは、神が約束されていた時期であった。アブラハムは、サラが産んだ自分の子をイサクと名付け（た）。」創 21:1-3

「アブラハムは、再び妻をめとった。その名はケトラといった。彼女は、アブラハムとの間にジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イシュバク、シュアを産んだ。」創 25:1-2

## 2.6 イサクの息子ヤコブ（2人の中2番目）

「そこで、彼（イサク）は祝福しようとして言った。「お前は本当にわたしの子エサウなのだ。」ヤコブは、「もちろんです」と答えた。イサクは言った。「では、お前の獲物をここへ持って来なさい。それを食べて、わたし自身の祝福をお前に与えよう。」ヤコブが料理を差し出すと、イサクは食べ、ぶどう酒をつぐと、それを飲んだ。それから、父イサクは彼に言った。「わたしの子よ、近寄ってわたしに口づけをしなさい。」ヤコブが近寄って口づけをすると、イサクは、ヤコブの着物の匂いをかいで、祝福して言った。「ああ、わたしの子の香りは／主が祝福された野の香りのような。どうか、神が／天の露と地の産み出す豊かなもの／穀物とぶどう酒を／お前に与えてくださるように。多くの民がお前に仕え／多くの国民がお前にひれ伏す。お前は兄弟たちの主人となり／母の子らもお前にひれ伏す。お前を呪う者は呪われ／お前を祝福する者は／祝福されるように」創 27:23-29

「わたしには彼が見える。しかし、今はいない。彼を仰いでいる。しかし、間近にはない。ひとつの星がヤコブから進み出る。ひとつの笏がイスラエルから立ち上がり／モアブのこめかみを打ち砕き／シエトのすべての子らの頭の頂を砕く。」民 24:17

## 2.7 ヤコブの息子ユダ（12人の中4番目）

「ヤコブは息子たちを呼び寄せて言った。「集まりなさい。わたしは後の日にお前たちに起こることを語っておきたい。... ユダよ、あなたは兄弟たちにたたえられる。あなたの手は敵の首を押さえ／父の子たちはあなたを伏し拝む。ユダは獅子の子。わたしの子よ、あなたは獲物を取って上って来る。彼は雄獅子のようにうずくまり／雌獅子のように身を伏せる。誰がこれを起こすことができようか。王笏はユダから離れず／統治の杖は足の間から離れない。ついにシロが来て、諸国の民は彼に従う。彼はろばをぶどうの木に／雌ろばの子を良いぶどうの木につなぐ。彼は自分の衣をぶどう酒で／着物をぶどうの汁で洗う。彼の目はぶどう酒によって輝き／歯は乳によって白くなる。」創 49:1.8-12

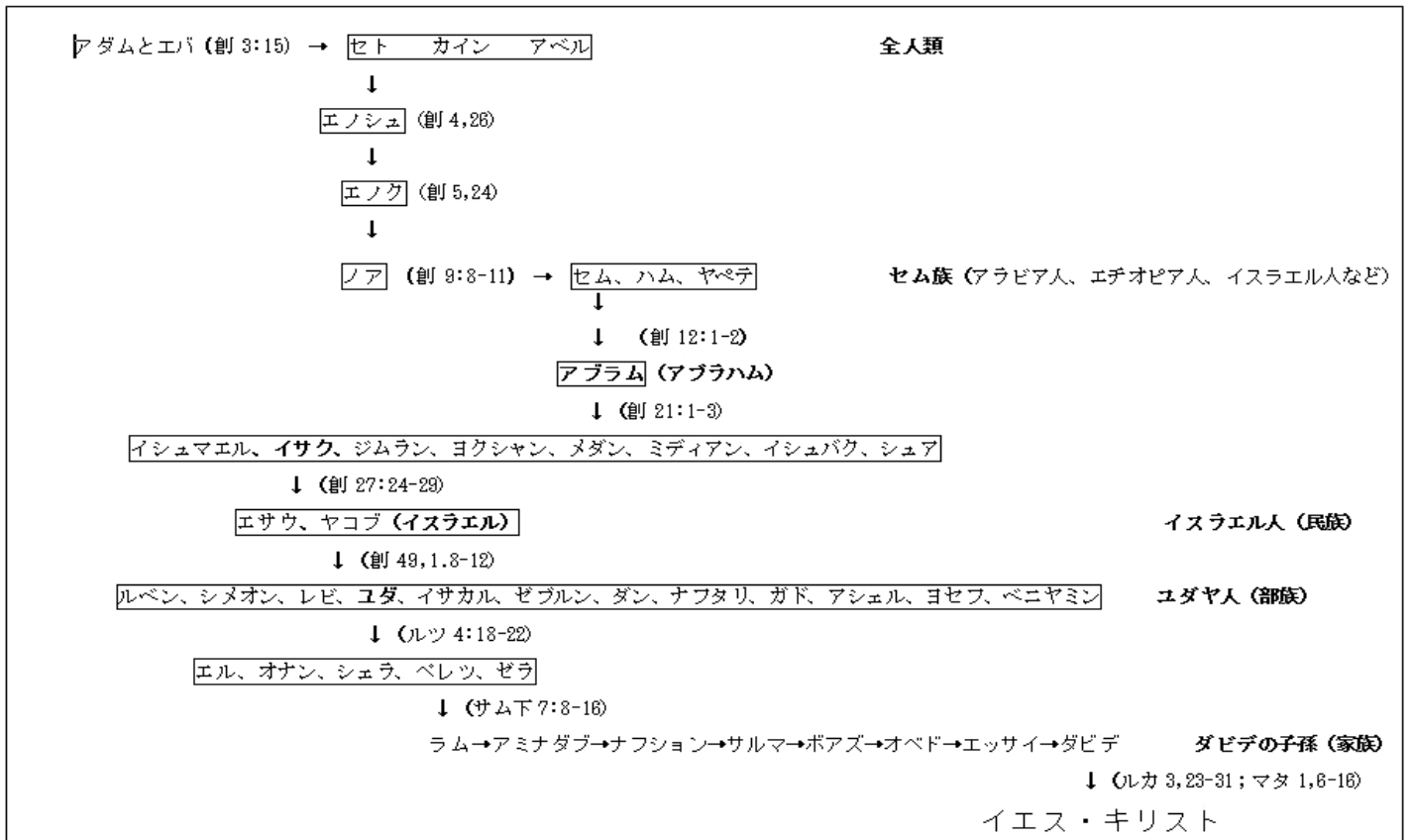
## 2.8 ユダの子孫ダビデ（イスラエルの王）

「すると、長老の一人がわたしに言った。「泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこばえが勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる。」」黙 5:5

「（ユダの子）ペレツの系図は次のとおりである。ペレツにはヘツロンが生まれた。ヘツロンにはラムが生まれ、ラムにはアミナダブが生まれた。アミナダブにはナフションが生まれ、ナフションにはサルマが生まれた。サルマにはボアズが生まれ、ボアズにはオベドが生まれた。オベドにはエッサイが生まれ、エッサイにはダビデが生まれた。」ルツ 4:18-22

📖 「**エッサイ**の株から一つの芽が出、その根から一つの若枝が生えて実を結び、その上に主の霊がとどまる。これは知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。彼は主を恐れることを楽しみとし、その目の見るところによって、さばきをなさず、その耳の聞くところによって、定めをなさず、正義をもって貧しい者をさばき、公平をもって国のうちの／柔和な者のために定めをなし、その口のむちをもって国を撃ち、そのくちびるの息をもって悪しき者を殺す。正義はその腰の帯となり、忠信はその身の帯となる。」イザ 11:1-5

📖 「あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。」サム下 7:12-13



## 2.9 ダビデの子孫イエス・キリスト

📖 「その日には／わたしはダビデの倒れた仮庵を復興し／その破れを修復し、廢虚を復興して／昔の日のように建て直す。」アモ 9:11

📖 「見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダは救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。」エレ 23:5-6 (33,14-26)

📖 「あなたは身ごもって男の子を産むが、その子を**イエス**と名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」ルカ 1:31

📖 「ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」ルカ 2:4-7

### ◆イエスの系図

📖 「アブラハムの子ダビデの子、イエス・キリストの系図。アブラハムはイサクをもうけ、イサクはヤコブを、ヤコブはユダとその兄弟たちを、ユダはタマルによってベレツとゼラを、ベレツはヘツロンを、ヘツロンはアラムを、アラムはアミナダブを、アミナダブはナフションを、ナフシ

ヨンはサルモンを、サルモンはラハブによってボアズを、ボアズはルツによってオベドを、オベドはエッサイを、エッサイはダビデ王をもうけた。ダビデはウリヤの妻によってソロモンをもうけ、ソロモンはレハブアムを、レハブアムはアビヤを、アビヤはアサを、アサはヨシャファトを、ヨシャファトはヨラムを、ヨラムはウジヤを、ウジヤはヨタムを、ヨタムはアハズを、アハズはヒゼキヤを、ヒゼキヤはマナセを、マナセはアモスを、アモスはヨシヤを、ヨシヤは、バビロンへ移住させられたころ、エコンヤとその兄弟たちをもうけた。バビロンへ移住させられた後、エコンヤはシャルティエルをもうけ、シャルティエルはゼルバベルを、ゼルバベルはアビウドを、アビウドはエリアキムを、エリアキムはアヅルを、アヅルはサドクを、サドクはアキムを、アキムはエリウドを、エリウドはエレアザルを、エレアザルはマタンを、マタンはヤコブを、ヤコブはマリアの夫ヨセフをもうけた。このマリアからメシアと呼ばれるイエスがお生まれになった。こうして、全部合わせると、アブラハムからダビデまで十四代、ダビデからバビロンへの移住まで十四代、バビロンへ移されてからキリストまでが十四代である。」マタ 1:1-17

「イエスが宣教を始められたときはおよそ三十歳であった。イエスはヨセフの子とされていた。ヨセフはエリの子、それからさかのぼると、マタト、レビ、メルキ、ヤナイ、ヨセフ、マタティア、アモス、ナウム、エスリ、ナガイ、マハト、マタティア、セメイン、ヨセク、ヨダ、ヨハナン、レサ、ゼルバベル、シャルティエル、ネリ、メルキ、アディ、コサム、エルマダム、エル、ヨシュア、エリエゼル、ヨリム、マタト、レビ、シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、エリアキム、メレア、メンナ、マタタ、ナタン、ダビデ、エッサイ、オベド、ボアズ、サラ、ナフシオン、アミナダブ、アドミン、アルニ、ヘツロン、ペレツ、ユダ、ヤコブ、イサク、アブラハム、テラ、ナホル、セルグ、レウ、ペレグ、エベル、シェラ、カイナム、アルパクシャド、セム、ノア、レメク、メトシェラ、エノク、イエレド、マハラルエル、ケナン、エノシュ、セト、アダム。そして神に至る。」ルカ 3,23-38

### 3. メシアの救いのわざが全人類に広まる

- 「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。」ヨハ 12:32
- 「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」使 1:8
- 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。」マタ 28:19
- 「弟子たちは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。」マコ 16:20
- 「この後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、大声でこう叫んだ。「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。」黙 7:9-10

